



Occupational Therapy
is
A Communication Process!!

The text is written in a white, hand-drawn style against a blue sky background. The 'O' in 'Occupational' contains a simple smiley face. The background of the entire page is a photograph of a cityscape with mountains in the distance and a building with a red roof in the foreground.

【講師】

鈴木 明子 先生 (日本作業療法士協会 初代会長)

山根 寛 先生 (「ひとと作業・生活」研究会主宰, 京都大学名誉教授)

葉山 靖明 先生 (株式会社ケアプラネット 代表取締役)

日 時 : 平成27年10月31日(土) 9:00~12:30

会 場 : 長崎リハビリテーション学院 (長崎県大村市赤佐古町42番地)

参加費 : 1,000円 (学生無料)

主 催 : 長崎リハビリテーション学院 作業療法学科

申込み : shiraiwa@nagariha.koyogakuen.ed.jp

電 話 : 0957-53-7883

『さぎょうりょうほうしの知架羅(ちから) 2015』 講演会

【日時】

平成27年10月31日(土) 9:00~12:30

【会場】

長崎リハビリテーション学院 (長崎県大村市赤佐古町42番地)

【趣旨】

長崎リハビリテーション学院作業療法学科では『さぎょうりょうほうしの知架羅』と題し、2年前から講演会を開催してきました。平成25年には山根寛先生、平成26年には中村春基先生と山根寛先生のお二人に来ていただき、学生、臨床実習指導者、教員がそれぞれの立場で語り合うことで理解を深めてきました。

そして第3回目となる今年は、テーマを「Occupational therapy is a communication process!!」とし、日本作業療法士協会初代会長の鈴木明子先生、毎回ご講演いただいている山根寛先生、株式会社ケアプラネッツ代表取締役の葉山靖明先生にご講演していただきます。山根先生には作業療法の事例を話していただき、葉山先生には当事者の立場からご自身の作業療法体験について話していただきます。そして鈴木先生のご講演は対談形式で行い、先生の足跡と先生が担当された事例について話していただきます。

山根寛先生は著書の中で、作業療法について「対象者自身の身体・生活・社会とのコミュニケーション、そして治療・援助者と対象者との相互のコミュニケーション、この二つのコミュニケーションプロセスにより成り立っている」と述べられており、作業療法の本質はコミュニケーションプロセスとして言い表せると思います。今回、先生方のご講演を通してその本質にせまりたいと考えています。

※『さぎょうりょうほうしの知架羅(ちから)』とは、作業療法士としての「知識」、担うべき「架け橋」としての役割、そのために必要な確かな「羅針盤」、それぞれの頭文字をとり知架羅としています。

【スケジュール】

9:00~9:10 開会およびスケジュール説明

9:10~10:10 「作業療法実践の物語」
山根 寛 先生 (「ひとと作業・生活」研究会主宰, 京都大学名誉教授)

10:20~11:20 「私の作業療法体験」
葉山 靖明 先生(株式会社ケアプラネッツ 代表取締役)

11:30~12:30 対談「鈴木明子先生の足跡と事例」
鈴木 明子 先生 (日本作業療法士協会 初代会長)
白岩 圭悟 (長崎リハビリテーション学院 専任講師)

【参加費】

1,000円(学生無料) ※一般の方も参加可能です。

【申込み】

氏名・所属を明記の上、事前にメールにてお申し込み下さい。 ※10月23日(金)締め切り
shiraiwa@nagariha.koyogakuen.ed.jp

【問い合わせ】

長崎リハビリテーション学院 作業療法学科 (0957-53-7883)